



おおとりちゅうがっこうだよ

大鳥中学校便り 第十二号

学校教育目標 ～豊かな心を育み、社会とのかかわりを大切に～
○感じる心(徳) ○考える力(知・体) ○行動する鳥中生(公・関)

横浜市立大鳥中学校
校長 新庄 広

令和5年度(2023年度)修了



卒業式を終えて

振り返れば3年前、コロナ禍の中での入学式でしたが、保護者の皆様は多感な年ごろを迎えたお子様に様々な不安を感じながら中学校生活のスタートを見守ったのではないのでしょうか。友だち関係、難しくなると言われている中学校の学習や反抗期を迎えたお子様とのやり取りなど、いろいろ悩まれたり落ち込んだり、時には傷ついたり、多くのご苦労があった3年間だったと推察されます。

それでもお子様たちは立派に中学校を卒業して行きました。これもひとえに保護者の皆様の日々のお子様への深い愛情と、地域の皆様の様々な支えによるものであると感じております。今は「無事に卒業した」という安堵の気持ちとこれから始まる高校生活への期待と不安を感じられていると思いますが、それはお子様とて同じこと。期待よりも仲の良かった友だちと別れ、知らないところへ行くことへの不安の方が大きいのかもかもしれません。しかし、新たな出会いや様々な経験を通して、お子様たちはさらに成長していくことと思います。そして、彼らにこれからは必要なことは保護者、ご家族の支えであることに変わりはありません。高校生になっても不安と心配はついてまいります。きっと保護者の皆様の期待に応えてくれるお子様たちだと確信していますので、変わらぬご支援を保護者、地域の皆様にお願ひ申し上げます。何かお困りのことがございましたら、またはお子様が悩んでいる様子が見られた時は、「中学校に顔を出してきたら。」とだけ言っただけでも、私たちが3年職員も子どもたちへの恩返しができるのではないかと思います。

最後になりますが、3年間本当にありがとうございました。皆様の大切なお子様をお預かりしているという気持ちで子どもたちと向き合っていました。私をはじめ学年職員の至らなさでご迷惑をおかけすることも多々あったことをご容赦ください。お子様を保護者の皆様の元へお返しすることができましたことを心より感謝申し上げます。

3学年主任 堂園 泰広

2年生(新3年生)へ

中学2年生となったこの1年間、皆さんはどう感じたでしょうか。

1年生の時のパワフルさを持ち合わせて始まった4月。

6月の学年レクレーションでは、「ドッチボール」と「しっぽとり」を全員が元気よく走り回り、パワーのある学年だと実感しました。

9月の東京遠足は、道に迷ったり、はぐれるなどのアクシデントもありましたが、全員無事に帰校できましたね。仲間を待つことや、励ますなど青学年らしい「思いやり」のある姿が誇らしく思えました。

10月の合唱コンクールでは、声変わりの時期も重なっていた生徒も多い中、「もう少し練習したかった」と悔しさを言葉にする生徒もいましたね。目の前の事に懸命に取り組む姿が印象的でした。

1月の職場体験は、どの生徒も事業所の体験で、学校とはまた違った真剣な取り組みでした。終わった時の「先生、疲れた～」と言いながらも、充実感のある目の輝きに、ひとまわりの成長を感じました。

3月の百人一首・球技大会では、仲間を思う思いやりのある発言が多く、どの生徒も前向きに頑張る雰囲気があり、2年生としての集大成が見受けられました。

4月からはついに3年生です。様々なプレッシャーを感じるかと思います。その時は今と同様に、先生たちが側に寄り添える関係でありたいと思います。一人ひとりと面談すると、自分の事だけでなく、周りにも目配り気配りが出来るようになっていくことを実感できる、素晴らしい生徒が多い学年です。今後、悩みや思いも一人ひとり全く違って来るかと思いますが、その中で「学年・クラス・グループ等の集団の力」を育んでいきましょう！

2学年主任 藤原 洋文

来年へ向けて

1年生のみなさん、1年間本当によく頑張りましたね。

1年前の4月に、みなさんはたくさんの夢と希望と、少しの不安を抱えて、大鳥中学校に入学してきたと思います。思い描いていた中学校生活は送れているでしょうか。また、充実した日々を送れているでしょうか。

自然教室や体育大会、文化祭や職業講話など、大きな行事に加えて、日々の学校生活の中で、たくさん笑い、時には涙を流すこともあったかと思います。

「学校」という小さな社会の中ではありますが、みなさんはたくさん学び、たくさんの人と出会い、たくさん経験をしていると思います。

良いことも嫌だったことも、すべてみなさんの成長につながっていることでしょうか。嫌なことがあったときは、一人で抱え込まず、保護者の方や先生、友人と協力して乗り越えていくことも学びの1つです。たくさん学んだことを土台に、来年度もたくさんの経験を積み上げていきましょう！

1年間、ありがとうございました。

1学年主任 中野 啓輔

「出欠席の記録」について

令和5年度の途中に、新型コロナウイルスが5類となり、出欠席の記録の記載ルールが変更になりました。それに伴い大鳥中学校では各生徒の出席簿を再確認し、出欠席の記録を横浜市教育委員会が示すように整理していきました。その結果、面談時に示した出欠席の記録と変わっている可能性があります。年度途中の記載変更に伴うものなので、ご理解いただきますようよろしくお願いいたします。

3月に行われた行事から

2年生百人一首大会 3月7日(木)

有志による「風の通り道」の箏演奏で始まりました。また、素敵なイラストと立派な書で作られた看板が会を盛り上げました。国語係は練習会からの準備・運営を担い、立派に役目を果たしました。試合はそれぞれのチームがみな協力し合い、札を取るたびに歓声と拍手が沸き、笑顔あふれる大会だったと思います。

昨年度より札を多くとりたいという自己目標をもって大会に挑んでいる人が多く、大会終了後には早速次年度への意気込みを語る生徒もいました。

チームで協力する楽しさを味わったり、日本の伝統的な詩歌である和歌に親しむ機会となりました。



卒業生有志による校内清掃 3月15日(金)

2階の廊下やホールなどの大掃除やワックスがけのお手伝いを呼びかけたところ、卒業した3年生が40名以上も集まってくれました。お世話になった大鳥中学校への感謝を込めて、きれいになるまで皆で夢中になって掃除していました。てきぱきと丁寧に仕事を進め、「次できることありますか?」「任せてください!」と協力して気持ちよく動く姿が頼もしくもあり、誇らしくもありました。



皆さん、どうもありがとうございました。新しい場所でもいきいきと活躍してくれることを願っています。

皆さん、どうもありがとうございました。新しい場所でもいきいきと活躍してくれることを願っています。

2年生球技大会 3月15日(金)

サッカー・バレーボールでの競技が行われ、3組が優勝を飾りました。代表して3組の各種目の班長からコメントをもらいました。



・男子サッカー 岩崎 凌馬さん

「点が入らなかったり、失点したりした時にみんなは下を見ずに次のプレーに集中していました。」

・女子サッカー 小川 玲奈さん

「仲間を励ましあい、最後まで戦い抜くことができました。」

・男子バレーボール 須藤 空駕さん

「一人ひとりが協力して全力でプレーしていて、1勝できてとてもよかったと思います。」

・女子バレーボール 吉本 百萌花さん

「三段攻撃を決めたときや、良いパスを出せたときは達成感を感じることができました。」

1年生球技大会 3月18日(月)

サッカー・ドッジボールでの競技が行われました。

実行委員長 川村 クレアさんからコメントをもらいました。

「1年生の球技大会では、一人ひとりが全力でやっていて、チームで点数を取れた時は「ナイス!」「よしゃー!」など、また点が取れなくても「ドンマイ!」などの声かけがあり、実行委員長としてとても嬉しかったです。今回の球技大会で、みんなが協力できていてとても良い思い出になりました。」

